

荒川区の産業は...

事業所数は大幅減少... 区内産業活性化の対策は?



区内の公共施設ははじめ自然エネルギーの爆発的導入を

同時に、これからの区内産業活性化に向けた本気の入れ込みが必要で、特に、切迫する首都直下地震の防災対応や原発ゼロ・自然エネルギー導入に思

今回の区議会でのこの5年間で区内営業所得者の納税義務者が大幅に減少、区の税収にも影響していることを指摘しました。しかも区内事業所の減少は深刻です(下表参照)。さらに消費税増税になれば、区内産業は深刻な事態になってしまいます。消費税増税ストップの声を上げるときです。

自然エネルギー導入、住宅耐震化、福祉のまちづくり、区内事業者による地域経済活性化に思い切った予算を

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告 ニュース

460

2012年3月18日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
x-rajcp@tcn-catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
x-yoko1951@aol.jp

消費税増税で政府が触れない 中小企業・業者への影響...

中小企業・業者が消費税で一番苦しんでいるのは、「消費税が転嫁できない」ことです(下グラフ)。これで消費税が10%になれば、雇用の7割を支える中小企業は苦境に追い込まれます。区内経済も大打撃を受け、税収も減ってしまいます。

消費税が引き上げられた場合、販売価格に転嫁できるか — 中小企業4団体による調査結果(2011年)



日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、全国商店街振興組合連合会

い切った予算措置が必要で、区内企業の力を総結集して住宅の耐震化、バリアフリーなど福祉のまちづくりなどで「犠牲者ゼロ」をめざし、太陽光発電の普及を進めるなかで仕事づくりと区内業者育成、新規の起業も促進する

区内営業所得者のうち納税義務者

年	人数	比率
2007年	6,093	6.6%
2008年	5,984	6.2%
2009年	5,658	5.8%
2010年	5,235	5.3%
2011年	4,811	4.9%

荒川区の事業所数

年	事業所総数	うち製造業	
		総数	比率
1975年	19,267	7,114	36.9%
1986年	18,063	5,987	33.1%
2009年	11,192	2,463	22.0%

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。「横山幸次」で検索して下さい。

熊野前方面に向かっていつもとそう変わらない風景を眺めながら歩いていると、目新しいバス停が目に見え込んできました(左写真)。いつもあまり気にもせず通り過ぎていたのですが、ベンチと風よけの亚克力板が設置されとても明るい雰囲気、バス停になっていきます。これなら風や雨の日でもバスを待つのが少し楽になるのではないのでしょうか。都バスのホームページを見てみると、別な場所では環境対応型バス停として風力発電装置と太陽光発電装置を設置し停留所の照明に電力供給しています。もちろんLED照明になっていきます。荒川区のは、多くのところで歩道が狭いため屋根の付いているバス停が少ないのが現状で



横山幸次

東尾久6丁目バス停(尾久の原公園側)がきれいに歩道の狭さもありませんが早くバス停に屋根の設置が必要

す。バスは、高齢者や障害者の方も多く利用します。バス停の隣家のご理解もいただきながら、ぜひ設置を加速させたいものです。

裏面 認証保育園もたいへん! 桜のイベント紹介

定例法律相談

4月 2日(月)
午後6時~8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

二次審査で認可保育園入園は40人 認証保育園もたいへんな狭き門



**認可あきらめ出産前から認証保育園に申し込み…
「保育に欠ける子ども」に対する区の責任が問われます**

認可保育園に入園を希望し、不承諾になってしまった子が418名、昨年を41名も上回りました。第二次審査の結果でも不承諾は全体で約380名（指数20は約100名）です。第一次審査での指数20の不承諾で、何らかの理由で空き枠が出た所に入園が決定したのは、結局南千住地域で9名・日暮里地域で7名だけでした。

認証保育園は受け皿になる？

認可保育園に入れないお子さんの受け皿として区内12カ所になった「認証保育園」があると云ってききましたが、この入園がきびしくなっています。

共産党区議団は、3月8日に電

話調査をしましたが、随時申込みを受け付けている園も多く、昨年から空きを待っている方がいます。最初から認証保育園だけを申し込む方も多くなっています。認可保育園入園結果を待っての申込みは相当の競争率になるのです。ここ2～3年、特に南千住・日暮里地域がきびしいようです。

待機児童を出さない緊急対策として保育ママの確保と負担軽減策など実施するとともに認可保育園の増設に本気の取り組みが求められます。



教材費への予算増額を要求

荒川区の各小中学校に配分される、教材教具の予算は、児童生徒一人当たり年間約1万円。その予算で、習字の半紙からプリンターインクまで、各教科に必要なものを各学校でやりくりして購入しています。



一方保護者は給食費を除いて小学校で平均1万7千円、中学校で5万円の負担です。私費負担となっている計算ドリルやワークブック、アサガオ栽培セット、書初め半紙など基本的な学習指導に必要なもので、当然公費で負担すべきではないでしょうか。義務教育は無償という原則にもとづく、予算の増額検討が行われていません。共産党区議団は、繰り返し教育費の公費負担の拡大を求め実現に向けて引き続き力をつくします。

日本共産党区議団は教材費の公費負担の増額修正を提案しました。
小学校 @10,000円×5,630人
中学校 @15,000円×1,800人
残念ながら、他会派の反対で成立しませんでした。

お知らせ… 桜の季節も間近… イベント紹介

三河島水再生センター「さくら鑑賞会」

4月6日（金）7日（土）午前10時から午後3時
（午後3時30分閉門）雨天決行

苗木プレゼント（6日のみ・先着150名）

センター内の330本の桜が楽しめます。普段入ることができない水処理施設の見学ができます。文化財施設（旧三河島汚水処分場唧筒（ぼんぷ）場施設：国重要文化財）は、工事中のため公開していません。



会場内での飲食は可能・ゴミは各自持ち帰り
飲酒、車での来場はご遠慮ください。

シダレザクラ祭り

4月7日（土）10時から15時まで
（雨天の場合8日）

都立尾久の原公園
商店街連合会による模擬店
シダレザクラのある風景写真展
野点、草花即売会など



復興支援企画として、福島県石川町、小野町などの物産展も開催



都電荒川2丁目停留所から三河島水再生センターに沿った狭い歩道が拡幅されています（上写真）。ちょうど桜並木に沿っています。

そして、もう間もなく自然公園に直結するエレベーターも完成します。

この際、自然公園・三河島水再生センター周辺を散策してみてもいいかもしれません。